

営巢中のオオコノハズクによる魚類給餌の記録

伊藤良昭¹・赤塚隆幸²

1. 〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋 1-15

2. 〒493-8001 愛知県一宮市北方町北方字東土取114-1

オオコノハズク *Otus bakkamoena* は全長23.5~26cmの小型のフクロウで(高野 1989), 日本では春に渡来し, 4月から 6月にかけて樹洞, 家の軒下などに営巢する. 抱卵は雌のみが行ない(山階 1934), 抱卵中の雌に雄が食物を運ぶ(山本 1999). おもにネズミなどのほ乳類, 小鳥, 昆虫, 両生類, は虫類などを食物とするが(山階 1934, 高野 1985, Karel 1998, 山本 1999, 大沢ほか 2001), 食物に占める小型ほ乳類の割合が高い(Karel 1998). 一腹の産卵数は 3~6個である(高野 1985, 山本 1999).

著者らは, 2003年 5月12日に岐阜県大野郡荘川村(35° 59' N, 137° 01' E)の山中で抱卵中のオオコノハズクの巣 1巣を発見した. その巣で, 5月21日~7月 1日までの期間中に10日間, 合計31.5時間(19:00~翌 1:00), 巣から約30m離れた場所にビデオカメラレコーダー(SONY DSR130)を設置し, 巣への親の出入り等を撮影したところ, 運ばれた食物の中に 2例の魚類が確認された. オオコノハズクの食物に魚類の含まれる過去の記録を探したが, みつからなかったため, 特殊な給餌例としてこれを報告する.

調査地は標高約1,000mの林道沿いにあり, 針葉樹の植林が広範囲に広がる中, 沢沿いにはまとまった落葉広葉樹林が残されている. 調査巣はその広葉樹林内のシラカバ *Betula platyphylla* ver. *japonica* の木にある地上高約 8mの樹洞にあった. 同林は, ホオノキ *Magnolia obovata*, カツラ *Cercidiphyllum japonicum*, ハンノキ *Alnus japonica* 等の比較的高さのある樹木が目立ち, 林床はコケ類やクサソテツ *Matteuccia struthiopteris* などが目につく見とおしのきく環境だった. また, 営巢木から約30mの位置には川幅 5m程の溪流が流れていた.

調査した巣でオオコノハズクのヒナがふ化した日は特定できなかったが, 巣は浅くて狭かったため, 5月28日に雌が巣穴から尾をはみ出して抱卵している様子が確認され, 6月 3日に雌が雄から受け取った食物を巣内で細かくしてヒナに給餌する行動が確認されたことから, このあいだにふ化したものと思われた. ヒナは 2羽だった. 7月 1日にヒナが巣から身を乗り出して羽ばたく行動が観察され, 7月 3日にはヒナを確認できなかったことから, 巣立ちは 7月 2日あたりで, 育雛日数は, 30日~35日と推定された.

2003年10月19日 受理

キーワード: イワナ, オオコノハズク, 岐阜県, 食物

本論文のカラー写真を <http://www.wbsj.org/nature/database/strix/22/ito.html> でみることができます.

表 1. オオコノハズクが巣に搬入した食物

Table 1. Prey items of a pair of Collared Scops Owl in central Japan.

撮影日時 date	撮影時間 filming times	小型ほ乳類 mammal	魚類 fish	両生類 amphibia	鳥類 bird	不明 unknown	計 total
2003/5/21	19:00~22:00	-	-	-	-	-	0
5/28	19:00~01:00	1	-	-	-	-	1
6/3	19:00~01:00	2	-	-	-	-	2
6/10	19:30~22:30	1	-	-	-	1	2
6/21	19:30~22:30	2	-	-	-	-	2
6/26	19:30~22:30	4	-	-	1	-	5
6/27	19:00~20:30	2	-	-	-	-	2
6/29	19:30~22:30	3	-	-	-	-	3
6/30	19:30~22:30	1	2	-	-	1	4
7/1	19:00~21:00	1	-	1	-	-	2
計		17	2	1	1	2	23



図 1. 給餌された魚をくわえたオオコノハズクのヒナ

Fig. 1. A Nestling of Collared Scops Owl with fed fish.

記録された抱卵中の雌への給餌は、5月28日の小型ほ乳類 1回のみで、ヒナへの給餌は22回記録された。この合計23回(2.3±1.42回/日, N=10)の給餌記録(表 1)のうち、アカネズミ *Apodemus speciosus* あるいはヒメネズミ *A. argenteus* と推測されるネズミ類とヒミズ類 *Urotrichus* spp. をあわせた小型のほ乳類が17例(73.9%)、体色などからイワナ *Salvelinus leucomaenis f. Japonicus* と推測される魚類が2例(8.7%)、カエル類が1例(4.3%)、ノジコ *Emberiza sulphurata* と思われる小鳥が1例(4.3%)で、2例は判別できなかった。6月10日までは、雌が巢内で雄の給餌を待ち、雄から食物を受け取った雌がヒナに給餌したが、6月21日以降は、雌は巢外におり、ヒナは入り口まで顔を出して、両親から直接食物を受け取った。

ネズミ類あるいはヒミズ類とカエル類は、給餌を受けたヒナが直接頭から飲み込むところが撮影されたが、魚類は入り口でヒナが受け取ったあと、獲物を横にくわえて巣の奥へ入ったため、魚類がヒナによって食べられたかどうかは確認できなかった(図 1)。与えられた魚類の大きさはヒナの3/4程度と推定され、撮影した画像で見える限り魚は水で濡れており、汚れや大きな損傷も目立たなかった事から、比較的新鮮であると判断された。

本調査地に対して、岐阜県本巣郡根尾村(35° 38' N, 136° 36' E, 標高約200m)で、1992年に繁殖中の巣に運ばれた食物は、小型ほ乳類が53.4%、ムカデ類 *Chilopoda* spp. が26.4%、昆虫・クモ

類が7.2%, その他が12.9%だった ($N=163$, 伊藤 1993). 本調査においても小型ほ乳類の比率が73.9%を占めた. オオコノハズクが小型ほ乳類を主要な食物とすることは, 先行研究でも示されているが (Karel 1998), そうではあっても獲物には地域の環境によって幅があると考えられる. 今回の調査中に魚が巣へ運ばれたことと, 巣から約30mの距離を溪流が流れていた環境的要因は関連していると考えられる. すなわち, 周囲の環境によっては, ほ乳類以外にも食物の幅を広げる可能性を示唆している.

引用文献

- 伊藤良昭. 1993. 闇夜の中静かに繁殖するオオコノハズク. *Birder* 17(8): 10-13.
- Karel, H.V. 1998. *Owls of the Northern hemisphere*. William Collins Sons & Co. Ltd. London.
- 大沢八州男・叶内拓也・山本純郎. 2001. 鳥. 文一総合出版, 東京.
- 高野伸二. 1985. 日本の野鳥. 山と溪谷社, 東京.
- 高野伸二. 1989. フィールドガイド日本の野鳥. 日本野鳥の会, 東京.
- 山本純郎. 1999. シマフクロウ. 北海道新聞社, 札幌.
- 山階芳麿. 1934. 日本の鳥類と其の生態. 岩波書店, 東京.

Recorded of fed with fish by Japanese Collared Scops Owl in breeding period

Yoshiaki Ito¹ & Takayuki Akatsuka²

1. 1-15 Fushiya, Ginan-cho, Hashima-gun, Gifu 501-6006, Japan

2. 114 Kitagata-cho, Kitagata, Ichinomiya, Aichi 493-8001, Japan

A nest of Japanese Collared Scops Owls *Otus bakkamoena semitorques* on a mountain at Syoukawa village in Gifu prefecture, was monitored by video camera to record prey items brought.

We recorded 23 prey items in 31.5 hours of recording over 10 days between 28 May to 1 July. Of these 73.9% were small mammals, but in two cases the prey was a fish, *Salvelinus leucomaenis f. japonicus*, about 10cm in length.

We believe that this record is unusual, because there are no previous published records of Collared Scops Owls feeding their nestlings with fish, and possibly none for the entire genus *Otus*.

Key words: Japanese Collared Scops Owls, *Otus bakkamoena*, prey item, fish